

ネットサービスを公平に受けられる社会づくり

地域人権教育指導員 吉山義信

国内で新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が繰り返される中、ようやく待ち望んでいたワクチン接種が始まりました。これで感染の恐怖や自粛から解放されると考えた人も多いのではないのでしょうか。接種率の高い国では感染者数が減少し、マスク無しで談笑している街角の様子も報じられています。このような安心・安全な日常にはすぐに戻れるとは思いませんが、少なくとも命を守るための具体的な方法がまず一つ見つかったことは何よりの朗報です。

接種予約をめぐって

一方で新たな問題も発生しました。ワクチン接種予約をめぐって、自治体で混乱が生じています。本市でも予約の受け付けはほとんど電話、インターネット(以下ネット)で行っています。ところが電話や予約サイトへの申し込みが殺到し、なかなかつながらず、市役所の窓口で直接問い合わせをする事態となりました。私の知人も「朝から仕事の合

間に何度も電話しているがなかなかつながらない。そのうちにつながらるだろう」と話していましたが、高齢夫婦世帯の中にはどうしたらいいか区長に尋ねたり、知人や遠方にいる家族に頼んだりしたという人もいました。本市では混乱を予測し、75歳以上の申し込みの際は土・日曜日も対応。65歳以上の申し込みの時には、各公民館や市民広場でタブレットを用意し、予約支援をしました。また、市民同士で予約の申し込みを手伝った人たちもいます。

ネットへの接続は基本的人権

今回、通信手段としてネットを便利かつ必要性のあるものと多くの人が認識しました。学校ではオンライン授業が始められ、企業でもリモートワークを導入したところもあり、社会のいたる所で急速にICT化(情報通信技術)が進んでいます。国連は2011年に「インター

ネット接続は基本的人権」と定めました。

フィンランドではネット接続を国民の基本的権利として情報化社会を形成しようと、法律で保障すると宣言しています。OSCE(欧州安全保障協力機構)も「情報社会に参加する権利は万人にあるべき。市民のインターネットへのアクセスを保障するよう努める責任が国家にはあるべきだ」と報告しています。

このように、ネットによる知る権利、通信する権利などは人権の一つとして世界的に認められる時代となりました。

ネットを生活の手段として

本市でも昨年から公民館利用予約をネットから申請できるようになりました。今後さらにいろいろな場面でネットによるサービスが行われていくことでしょう。ネットによるサービスを誰もが公平に受けられる社会づくりはもう始まっているのだと思います。

菊池ファンクラブ通信 ②



菊池ファンクラブとは

全国に34万人いるとされる菊池(地)姓など菊池一族ゆかりの人や、菊池市出身者、市民を含む菊池に愛着を持つ人(＝菊池ファン)が、相互につながるための仕組みです。人口減少や少子高齢化が進む中、市内外からいる様々な方法で地域に関わる人を増やしていくことで将来にわたり持続できるまちづくりを進めます。

オンライン花見会

「城山夜桜ライブ配信」初開催!

コロナ禍で花見を自粛している人や市外在住の会員の皆さんに菊池公園の夜桜を楽しんでもらおうと、3月26日に「城山夜桜ライブ配信」を行いました。案内役は、自然・温泉党の森谷湯美栄、菊池ニユースオンラインの平ルミキヤスター、歴史・刀剣党秘書役の佐伯明日香さんの3人。菊池神社の参道からスタートし、境内を通って菊池公園内を歩きながら桜の見どころを紹介しました。途中、墨



1・2\_夜桜ライブ配信での一コマ 3・4\_菊池の魅力がYouTubeでも配信中

会員登録は公式ウェブサイトから

ウェブマガジンや動画も見ることができます。



https://kikuchi-fan.com/

菊池密着型ウェブマガジン「KNO Kikuchi News Online」菊池の観光・グルメ・イベント情報などを発信するウェブマガジンが誕生しました。森谷党首と平ルミキヤスターが市内を駆け回り、菊池のありとあらゆる魅力を掘り起こして発信しています。ぜひご覧ください。

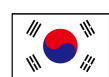


総会員1000人突破!

2月の創設以来、会員数が1000人を突破しました。(6月11日現在1107人)

引き続き多くの菊池ファンとつながるために、さまざまな企画を行っていきます。会員特典も充実させていきますので、未加入の人はぜひご入会ください。

問い合わせ先 菊池観光協会  
☎0968(25)0513



韓国発見シリーズ ⑧  
ほんごちは金です



国際観光マネージャー 金相廷

韓国女優、75歳でアカデミー賞受賞

今年のアカデミー賞助演女優賞を75歳の韓国人女優ユン・ヨジョンさんが受賞し、大きな話題になっている。連日彼女に関する報道が流れ、華やかな受賞とともに彼女の波乱万丈な人生も静かな感動を与える。

若い時に女優になった彼女は1972年、25歳で結婚し芸能界を引退した。3年後は夫の米留学のため渡米する。そして夫の勉強を支えるためスーパーで働いた。時給は2ドル75セントだった。韓国人が一人もいない地域で苦勞しながら働き、英語を覚えていったが、その時に学んだ英語が今回役立ち「人間万事塞翁が馬」を感じたそうだ。

10年ほど米国で働きながら子育てもしたが、その後、離婚し帰国。韓国で女優復帰した彼女は2人の子どもを育てるため、役の大小を問わず働いた。女優は容姿も重要だが、彼女は「私は美人ではない」と言う。むしろ演技力を磨いて努力した。

その結果、彼女は韓国の芸能界で誰からも尊敬される存在になった。しかし、慢心せず挑戦を続けた。今回のアカデミー賞

受賞作である「ミナリ(芹)」の出演もそんな挑戦の結果だという。

「ミナリ」は1980年代にアメリカカンザス州を夢見て米国アーカンソー州に移住した韓国系移民者家庭の話だ。この作品で彼女が演じた役では東洋と西洋の文化の衝突を描いたり、孫と心温まる絆を深めたり、危機脱出のきっかけをつくらたりする。このような点が米国評論から注目されたのだろう。

アカデミー賞受賞式のステージに立った彼女はウィットあふれる英語でも人々を驚かせた。時給2ドル75セントで働きながら学んだ英語が輝く瞬間だった。75歳の彼女の受賞は、高齢化が進む韓国社会に刺激を与えた。

年齢は人生の集大成ではないか。生きていると挫折や苦しさはつきものだ。でも「私たちの外面は衰えていくとしても、内面は日々新しくされていく」という格言のように、前を向きひたむきに生きていくなら、そこで何かを学び習得すれば…。やがて豊かな人生を送れるだろう。

◆ シリーズ ◆ 交流の絆 ⑬

問い合わせ先 市長公室 ☎0968(25)7252

【友好都市】岩手県・遠野市の特産品を紹介

遠野を代表するグルメといえばジンギスカン。遠野にジンギスカンが根付いた理由の一つに「ジンギスカンバケツ」の存在があります。プリキのバケツに穴を開けたコンロで、固形燃料を入れて使います。とにかくジンギスカンが好きな遠野の人たちが、野外でも気軽にジンギスカンを楽しむようにと考案しました。

羊肉といえば、クセがあり苦手な人も多いと思いますが、遠野の羊肉は比較的クセがなく食べ応え抜群。店舗によって、肉の切り方やタレの味付けが違うのも、遠野のジンギスカンを楽しむ一つのポイントです。



遠野のソウルフード、ジンギスカン。鉄板の下がジンギスカンバケツ

わいふ一番館

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968(24)6630

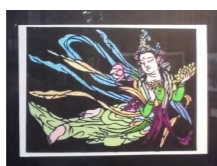
切り絵「中山博とそのグループ展」

メンバーが無心に制作したモノクロとカラーの作品を展示します。

期間 7月6日(火)～8月1日(日)

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)



菊池観光協会

問い合わせ先 菊池観光協会 ☎0968(25)0513

大屋根広場でバーベキューをしませんか

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、焼台やトングなども通常より増やしています。予約や市民広場の他の施設利用についてはお問い合わせください。

開館時間 午前9時～午後6時

休館日 第4火曜日(点検などで臨時的に休館する場合あり)